

**製品名: JMJD6 (3G5) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM03413**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 46 kDa; Observed MW: 62 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	JMJD6
別名	JMJD6; KIAA0585; PTDSR; Bifunctional arginine demethylase and lysyl-hydroxylase JMJD6; Histone arginine demethylase JMJD6; MjC domain-containing protein 6; Jumonji domain-containing protein 6; Lysyl-hydroxylase JMJD6; Peptide-lysine 5-diox
遺伝子 ID	23210
SwissProt ID	Q6NYC1
免疫原	-

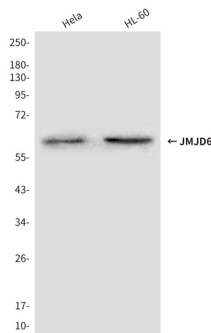
**背景**

この遺伝子は、JmjC ドメインを持つ核タンパク質をコードしています。JmjC ドメインを含むタンパク質は、タンパク質水酸化酵素またはヒストン脱メチル化酵素として機能すると予測されています。このタンパク質は、アポトーシス細胞の貪食に関するホスファチジルセリン受容体として初めて同定されました。しかし、その後の研究で、アポトーシス細胞の除去に直接機能しないことが示され、真のホスファチジルセリン受容体であるかどうか疑問視されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。

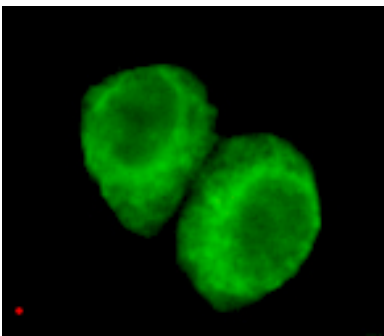
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



JMJD6(Nterminus)抗体を使用した HeLa および HL-60 溶解物中の JMJD6(Nterminus) のウエスタンブロット分析。



JMJD6(Nterminus)抗体を用いた HeLa 細胞における JMJD6 の免疫細胞化学分析。